

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答	
1	入札説明書	16		17	入札説明書 P16 (4) ウ 「4の(1)のイ」は、公告の「10の(1)のイ」と考えてよろしいでしょうか。	入札説明書16ページ17(4)ウについて、赤文字にて追記・修正し再掲載しましたので、公告資料ご確認をお願いします。	
2	設計書（工事業務）	28			廃止管(既設管)充填工について  充填工について、数量計算書（管内充填工P139）では、Φ500、Φ300とも5スパンに分割充填することになっています。各、分割点で必要と思われる、立坑の寸法、土留め工法、充填プラント用地場所、給水手段、施工時間帯、道路使用条件の見積条件をご教授下さい。	本事業はデザインビルト方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。  なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。	
3	設計書（工事業務）	28			廃止管(既設管)充填工について  充填工で想定されている工法をご教授下さい。	（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。  なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。	
4	設計書（工事業務）	21			発進立坑 路面覆工【No.1】について  図面番号 28/68の覆工図面では、鋼矢板打設用の布堀範囲に桁受、受桁が干渉します。覆工は鋼矢板打設後の施工でよいですか。	発進立坑【No.1】施工中の道路使用条件について  発進立坑【No.1】発進立坑施工形態平面図(設計図面 53/68)は鋼矢板打設中の図ですが、舗装撤去～鋼矢板布堀・鋼矢板圧入～路面覆工～立坑掘削・支保工設置、底盤工での期間中、仮設道路を使用可能と考えてよろしいですか。	要求水準書「4. 4 発注者と事業者の責任分担」に示すとおり、発進立坑【No.1】の北側沿道の土地の借地の可否については、現時点で発注者の方で土地所有者及び耕作者には借地の内諾を得ていますが、借地契約については、本事業の土木設計業務等委託契約の中で必要な期間及び範囲等を決定した上で、本事業の受注者が交渉・契約することになります。なお、借地の交渉・契約にあたっては、発注者は支援を行います。
5	設計書（工事業務）	16					

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
6	設計書（工事業務）	21			<p>発進立坑 路面覆工【No.1】について</p> <p>図面番号 28/68の覆工図面で桁受の基礎工がありません。見積対象外でしょうか。また、鋼矢板に桁受けをボルトアップ、溶接することも想定しますが、見積対象外ですか。</p>	
7	設計書（工事業務）	24			<p>発進立坑部管布設工のうち、<math>\phi 500</math>と<math>\phi 300</math>の管布設工について</p> <p><math>\phi 500</math>と<math>\phi 300</math>の管布設時は、片側交互通行での作業は困難と予想します。<math>\phi 500</math>と<math>\phi 300</math>の管布設時の道路使用形態として、先行シールド工事が完了後、シールド作業基地の向かい側の田んぼに仮設道路を設置する、または、車両通行止めとする等を想定しますが、道路使用形態をご教授下さい。</p>	<p>本事業はデザインビルド方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。</p> <p>なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。</p>
8	設計書（工事業務）	21			<p>到達立坑 路面覆工【No.2】について</p> <p>図面番号 34/68の覆工図面で桁受の基礎工がありません。見積対象外ですか。また、鋼矢板に桁受けをボルトアップ、溶接することも想定しますが、見積対象外ですか。</p>	
9	設計書（工事業務）	21			<p>到達立坑【No.2】土留工(夜間作業)について</p> <p>図面番号 34/68のNo.2到達立坑(上流側) 仮設図（1）では、鋼矢板打設用の布堀範囲に覆工用の桁受、受桁が干渉します。このため、路面覆工は鋼矢板打設後の施工になると推察します。このため、布堀から鋼矢板打設完了まで、常設作業帶を設置し、鋼矢板圧入・引抜機を現場に据え置きする見積条件でよいですか。また、鋼矢板引抜き時は、覆工撤去後、仮舗装し、常設作業帶を設置し、鋼矢板圧入・引抜機を現場に据え置きする見積条件でよいですか。</p>	

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
10	設計書（工事業務）	23 24			No.2到達立坑部 薬液注入工(立坑側部①) (立坑側部②)  No2立坑横矢板部の既設水道管(Φ1200mm)の下部の地盤改良について、薬液注入工法では、未改良範囲が生じると推察します。今回の入札では、設計工法と数量で見積ることでよいですか。	
11	設計書（工事業務）	18			鋼製ケーシング圧入掘削工(夜間施工)について  No3到達立坑施工時のケーシング圧入掘削作業時は常設作業帯を設置し、圧入機を現場に据え置きする見積条件でよいですか。	本事業はデザインビルト方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。  なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。
12	設計書（工事業務）	6 13			シールド残土処分工について  シールド残土の想定比重をご教授下さい。	
13	設計書（工事業務）	6 13			シールド残土処分工について  シールド残土は泥土扱いでよいですか。	
14	設計書（工事業務）	6 13			シールド残土処分工について  シールド残土数量には、注入した添加材の数量と残土固化用のセメント数量は加算されているのですか。	
15	設計書（工事業務）	6 13			シールド残土処分工について  No1～No2とNo1～No3では、シールド掘削断面は同じですが、両スパンの残土数量の比(2626.8/2412.1=1.09)が距離の比(1614.8/1374.9=1.17)に合いません。その原因をご教授下さい。	

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
16	設計書（工事業務）	20			<p>発生土処分工について</p> <p>・ケーシング圧入掘削は水中掘削のため、泥土扱いになると推察します。設計書、数量計算書では普通土となっていますが、普通土として、見積ることでよいですか。</p>	<p>本事業はデザインビルト方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。</p> <p>なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考してください。</p>
17	設計書（工事業務）	29			<p>家屋調査工について</p> <p>対象家屋の名称と名称に応じた規格・仕様・件数をご教授下さい。</p>	
18	設計書（工事業務）	30			<p>借地料について</p> <p>借地面積は図面53/68によると、作業基地のみの数量となっていますが、濁水処理プラント用地の借地料は見積対象外ですか。</p>	
19	設計書（工事業務）	30			<p>重点監視について</p> <p>近鉄横断部の重点監視の監視項目と監視頻度、個所数、監視方法をご教授下さい。</p>	<p>近鉄横断部については、鉄道管理者と事前協議は行っていますが、線形や土被り等については、本事業の土木設計業務等委託契約において決定するため、その検討結果をもとに鉄道管理者と協議し重点監視方法が決定します。</p> <p>そのため、現時点では積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考してください。</p>

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
20	設計書（工事業務）	19 20			<p>到達立坑【No.3】施工区分について</p> <p>到達立坑【No.3】の底版コンクリート、土べら除去工、泥水運搬処分、発生土運搬処分、機械回送、機械組立解体、舗装工(取壊工)の各作業区分は夜間作業の記載がありませんが、夜間作業でよいですか。</p>	
21	設計書（工事業務）	17			<p>発進立坑土工(二次覆工)の作業条件について</p> <p>発進立坑土工(二次覆工)と一部支保工撤去の作業は防音ハウス内だけの作業ですか。それとも、車両通行止めをして、覆工板の開閉を伴う作業も想定してよいのですか。</p>	<p>本事業はデザインビルド方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。</p> <p>なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。</p>
22	設計書（工事業務）	28			<p>廃止管(既設管)充填工について</p> <p>廃止管Φ500、Φ300の土被りをご教授ください。</p>	
23	設計書（工事業務）	26			<p>作業基地の盛土撤去時の残土処分先について</p> <p>残土処分先をご教授下さい。</p>	
24	設計書（工事業務）	22			<p>高圧噴射攪拌工(夜間作業)</p> <p>高圧噴射攪拌工施工時の道路使用条件をご教授下さい。また、プラントは定置式プラントか車上プラントか合わせて、ご教授下さい。</p>	
25	設計書（設計業務）	9（設計書06）	内7号	試掘調査	試掘調査が1式計上されておりますが、単価表など算出根拠となる作業項目・数量が分かる資料を開示いただけないでしょうか。	要求水準書の「3. 1 設計業務（詳細設計） - （9）試掘調査」に示す範囲及び箇所を参考してください。

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
26	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			53	<p>立上管立坑【No.1】土留工設置時期について</p> <p>立上管立坑築造工の作業形態は、発進立坑【No.1】築造前に設置した仮設道路を利用し、発進立坑と同時、または同時期に施工することでよろしいでしょうか。もし、先行シールド工事が完了後に、立上管立坑の施工を想定されている場合、その作業形態をご教授下さい。</p>	
27	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			53	<p>発進立坑【No.1】発進立坑施工形態平面図について</p> <p>立坑築造時の仮設道路設置、撤去費用の計上項目をご教授下さい。</p>	<p>本事業はデザインビルト方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。</p> <p>なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。</p>
28	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			53	<p>発進立坑【No.1】発進立坑施工形態平面図について</p> <p>作業基地整備後の雨水の排水系統は確保されていると想定してよいですか。</p>	
29	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			53	<p>濁水処理プラントの設置について</p> <p>濁水処理プラントの設置場所で想定されている田んぼ用地の養生方法と範囲をご教授下さい。</p>	
30	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			53	<p>濁水処理プラントの設置について</p> <p>既設道路から濁水処理プラントまでのアクセスを兼ねて、既設道路の高さ程度まで盛土が必要と推察します。田んぼの養生、盛土、整地等の費用は今回の見積に計上は不要ですか。</p>	
31	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			53	<p>図面番号 53/68</p> <p>仮設排水管設置時の既設配管利用について</p> <p>・作業基地と濁水処理プラントを連携する排水管のさや管として、排水管を既設のVP <math>\phi</math> 150, HP <math>\phi</math> 200を利用することを想定してよいですか。</p>	

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
32	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			28	発進立坑【No.1】と立上管立坑【No.1】の接続部について  両立坑の接続部は鋼矢板のジョイントで接続されていないため、立上管立坑【No.1】掘削時に湧水が予想されます。異形矢板の使用、地盤改良等の対策工は計上するのですか。	
33	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			28	発進立坑【No.1】の鋼矢板について  鋼矢板長が長尺（L:17mとL:15.5m）のため、継ぎ矢板として、計上するのですか。	
34	基本設計図面 (参考) 1. 基本設計図面			31,33	シールド発進坑口部の地盤改良延長について  同じシールド機長に対して、上流側と下流側の改良延長が異なります。上流側：10.6m、下流側：8.0mです。違いの理由を教授下さい。	本事業はデザインビルト方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。  なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。
35	数量計算書 4. 数量計算書 (工事)	59			発進立坑【No.1】鋼矢板購入、損料について  購入枚数が坑口部5枚となっていますが、立上管のΦ500とΦ300が貫通する部分4枚についての計上がありません。ご教授下さい。	
36	数量計算書 4. 数量計算書 (工事)	67			立上管立坑【No.1】鋼矢板購入、損料について  購入枚数が0枚となっていますが、立上管のΦ500とΦ300が貫通する部分3枚についての計上がありません。ご教授下さい。	
37	数量計算書 4. 数量計算書 (工事)	132			表土すきとりについて  すきとりした表土の仮置き場場所をご教授下さい。仮置き方法はすきとり土を大型土のうに入れて、並べて置くと想定してよいですか。大型土のうの運搬・仮置き費用は設計書 26項の整地工に計上でよいですか。	

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
38	数量計算書 4. 数量計算書 (工事)	132			<p>盛土工について</p> <p>作業基地は田んぼ上に計画されているため、盛土・シールド設備・工事車両等の重量による地盤沈下が想定されます。作業基地地盤の沈下対策については、見積対象外でよいですか。</p>	<p>本事業はデザインビルド方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。</p> <p>なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。</p>
39	積算参考資料	7 12		92 93 167	<p>積算参考資料92, 93, 167に関しまして、これらの管理費区分はTとなっていますが、名称や設計書の構成から運搬費が含まれているものと考えられます。したがって、積算参考資料に提示された金額すべてが「処分費等」の扱いを受けるものではないと考えられます。つきましてはこれら提示単価の、「処分費等」とそれ以外の内訳をご教示ください。</p>	<p>管理費区分の考え方についてはお見込みのとおりです。貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」を基に算出していますので参考してください。</p>
40	その他				<p>シールド待機期間の経費について</p> <p>上流側シールド工終了後、下流側シールド工開始まで、発進立坑内配管、Φ500とΦ300の立上管および、これに繋がる地上部の配管の施工があるため、数か月間程度、シールド工設備、人員の待機期間が生じると推察します。この間の経費は、今回の見積に計上するのですか。</p>	<p>本事業はデザインビルド方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。</p> <p>なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考してください。</p>

## 質問回答書

番号	文書名	頁	章	項	質問内容	回答
41	その他				夜間作業時間帯について 夜間作業の時間帯は21：00～6：00としてよいですか。	<p>本事業はデザインビルド方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、詳細な内容は本事業の土木設計業務等委託契約において決定します。入札にあたっては、本事業の貸与資料（基本設計成果品）が検討の全てとなりますので、これを基に手続きを進めてください。</p> <p>なお、積算参考資料及び貸与資料の「北葛線第2工区基本設計業務委託報告書の途中成果～【第一工区】～03概算工事費」が予定価格の算出根拠となりますので参考としてください。</p>
42	その他				工期について、設計業務は令和9年6月30日までですが、工事の工期の始まりはいつからでしょうか。ご教授お願いします。	工事業務の工期の始期については定めはありませんが、土木設計業務等委託契約の業務完了後、1ヶ月から2ヶ月後に建設工事請負契約を締結することを想定しています。
43	その他				統括責任者について、設計業務期間（専任でない）に配置する統括責任者の費用は、設計業務の予定価格に含まれますか。含まれないのであれば、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	土木設計業務等委託契約期間における統括責任者の人件費に係る費用は、設計業務の「関係機関打合せ協議」に含めるものとして計上しています。
44	その他				基本設計図面から小口径シールド工法ϕ1000とありますが、支障がなければ他の非開削工法（推進・シールド併用型非開削工法：ハイブリッドシステム工法等）を採用してもよろしいでしょうか。	本事業はデザインビルド方式（設計・施工一括発注方式）であるため、発注時点での工事に関する内容（設計書・数量計算書・図面等）は基本設計成果（要は概算）に基づくものになります。そのため、本事業の設計業務における工法の決定にあたっては、各工法を総合的に検討・評価した上で決定することになります。